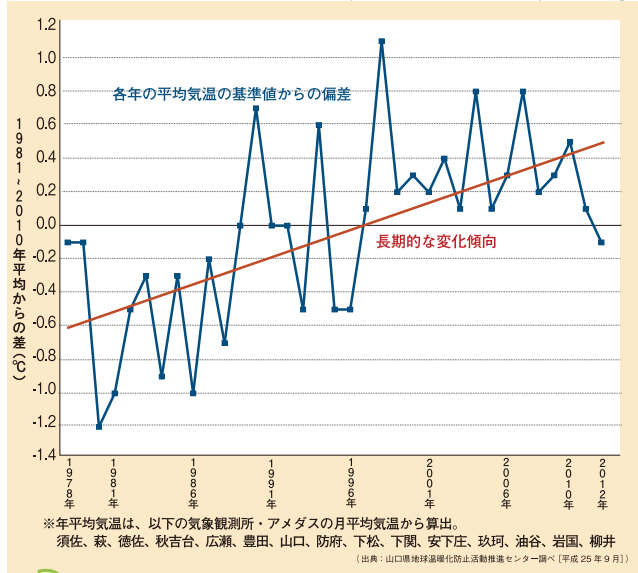




山口県の気象の変化

■年間平均気温の変化 (1981年～2010年 平均からの偏差)

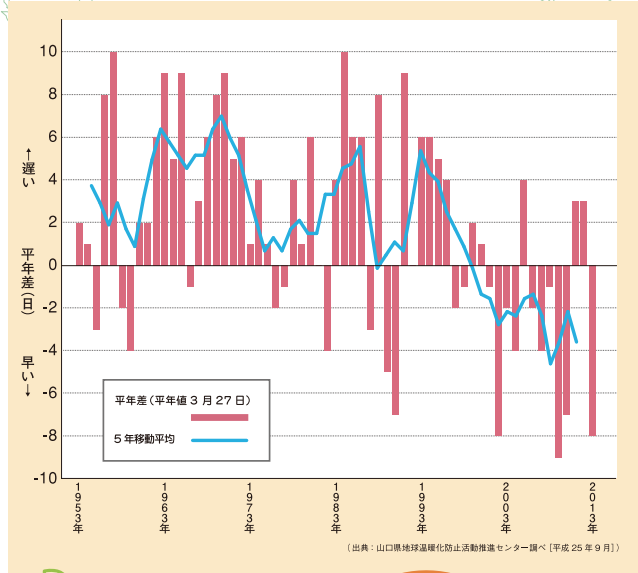


年間平均気温は、
10年で
約0.325℃の
割合で
上昇しています。

この30年間で
約1℃
平均気温が
上昇しました。



■下関地方気象台における桜の開花日の推移 (平年値との差)

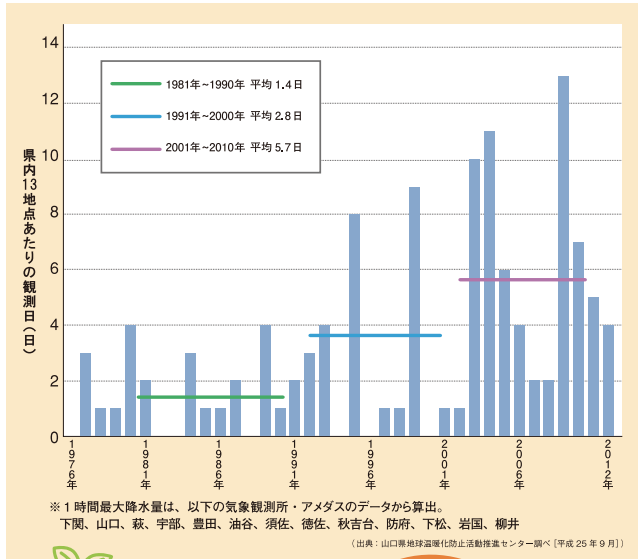


桜の開花日は
年々早まる傾向
にあります。

近年の開花日は
1950年代に比べ、
約7日
早まっています。



■豪雨の年間観測回数 (1時間降水量が50mm以上)

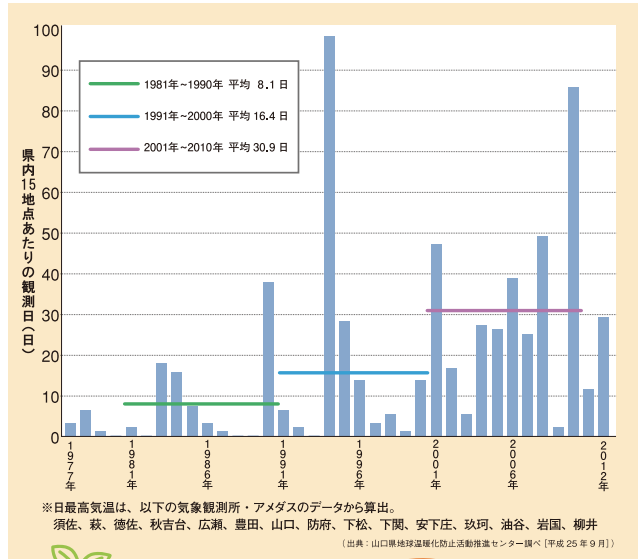


豪雨の日数は
増加傾向に
あります。

その傾向は平均して
1980年代は年間1.4日、
1990年代は2.8日、
2000年代は5.7日
でした。



■猛暑日の年間観測回数 (日最高気温が35℃以上の日)



猛暑日の日数は
増加傾向に
あります。

その傾向は平均して
1980年代は年間8.1日、
1990年代は16.4日、
2000年代は30.9日
でした。



山口県地球温暖化防止活動推進センター

<http://www.yobou.or.jp/yccca>



地球温暖化の影響

地球の気温

IPCC (気候変動に関する政府間パネル) は、このまま温暖化が進むと 2081~2100 年の地球の平均地上気温は **0.3~4.8°C上昇**すると 2013 年に発表しました。

地球温暖化の脅威

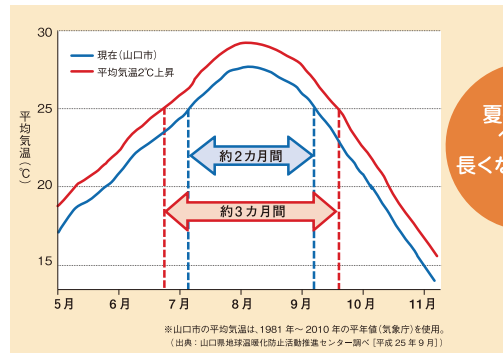
地球全体の気候が変わり、さまざまな影響が出ます。

影響は自然環境だけでなく、わたしたち人間の生活にもおよびます。こうした変化はすでに始まっていて、温暖化が進むとともに、被害が拡大するのではないかと心配されています。

もしも平均気温が2°C上がったら？

例えば、山口市の平均気温が2°C上昇したら、私たちの暮らしはどう変化するのでしょうか。

下のグラフは、山口市の5月~10月の平均気温を示したものです(青線)。これが2°C上昇すると…? 平均気温が25°Cを超える期間が約1カ月も長くなることになります。



身近に迫る温暖化の脅威

- サンゴが白化するなど生態系に深刻な影響が出ます。

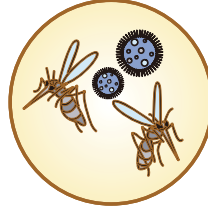


- ブナ林や亜高山帯・亜寒帯の針葉樹林の分布適地が減少します。

- 猛暑日や熱帯夜が大幅に増えます。



- 熱波により熱中症患者が増加したり、デング熱や日本脳炎が発生する可能性が高まります。



- 沿岸部では、海面上昇による高潮が重なることによる被害の増大、海岸浸食や砂浜の消失が起こります。

世界における温暖化の脅威

- 海水の熱膨張や氷河が融けて、海面が最大約60cm近く上昇。水没して消失する島(国)がでます。



- 平均気温の上昇により、20~30%の動植物が絶滅する可能性があります。

- 極端な高温、熱波、大雨の頻度が増加し、熱帯サイクロンが猛威をふるうようになります。



- 高緯度地域では降水量が増加し、逆にほとんどの亜熱帯陸域では降水量が減少する可能性があります。



- 世界全体では、地域の平均気温が3°C以上上昇すると、潜在的食料生産量は低下すると予測されています。



- 熱帯低気圧の強化・発生頻度の増加が予測され、激しい風雨による被害が増加する可能性があります。



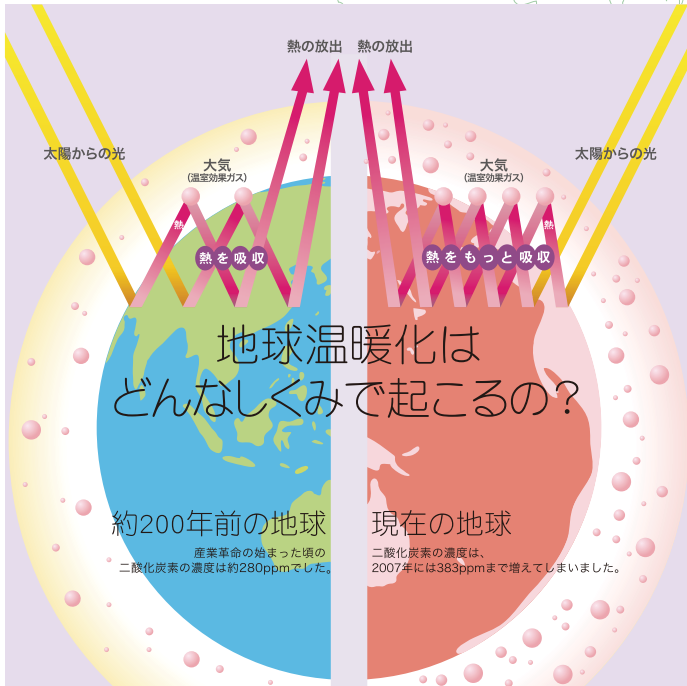
山口島根豪雨 (2013.7.28)

山口県地球温暖化防止活動推進センター

<http://www.yobou.or.jp/yccca>

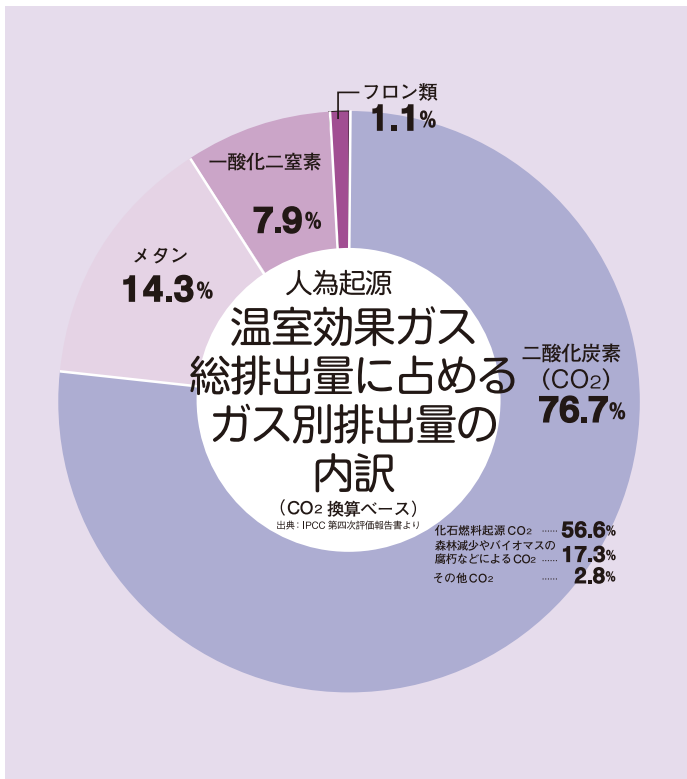


地球温暖化の原因



(出典：全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (http://www.yccca.org/) より)

地球温暖化の原因は、人類の活動によって排出量が増え続けている「温室効果ガス」といわれています。地球表面を覆うこのガスの量が増え続けているために、地表の温度が急速に上昇して地球温暖化が起きているのです。



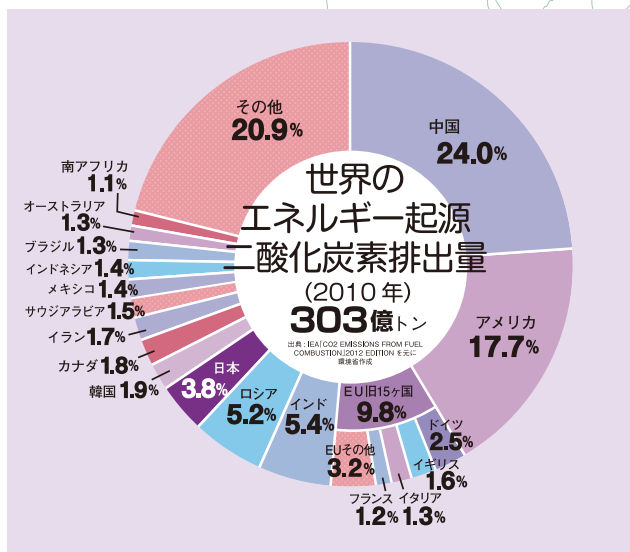
地球温暖化の原因となっている温室効果ガスにはさまざまなものがありますが、中でも「二酸化炭素」は温暖化への影響度が大きいガスです。産業革命以降、化石燃料の使用が増え、その結果、二酸化炭素の濃度が増加しています。

| 温室効果ガス | 地球温暖化係数※ | 用途・排出源 | |
|-------------------------|---------------------------|------------------------|------------------------------------|
| CO ₂ 二酸化炭素 | 1 | 化石燃料の燃焼など。 | |
| CH ₄ メタン | 23 | 稲作、家畜の腸内発酵、廃棄物の埋め立てなど。 | |
| N ₂ O 一酸化二窒素 | 296 | 燃料の燃焼、工業プロセスなど。 | |
| オゾン層を破壊するフロン類 | CFC HCFC類 | 数千～数万 | スプレー、エアコンや冷蔵庫などの冷媒、半導体洗浄、建物の断熱材など。 |
| オゾン層を破壊しないフロン類 | HFC ハイドロフルオロカーボン類 | 数百～数万 | スプレー、エアコンや冷蔵庫などの冷媒、半導体洗浄、建物の断熱材など。 |
| | PFC パーフルオロカーボン類 | 数百～数万 | 半導体の製造プロセスなど。 |
| | SF ₆ 六フッ化硫黄 | 22,200 | 電気の絶縁体など。 |

※地球温暖化係数とは、温室効果ガスそれぞれの温室効果の程度を示す値です。



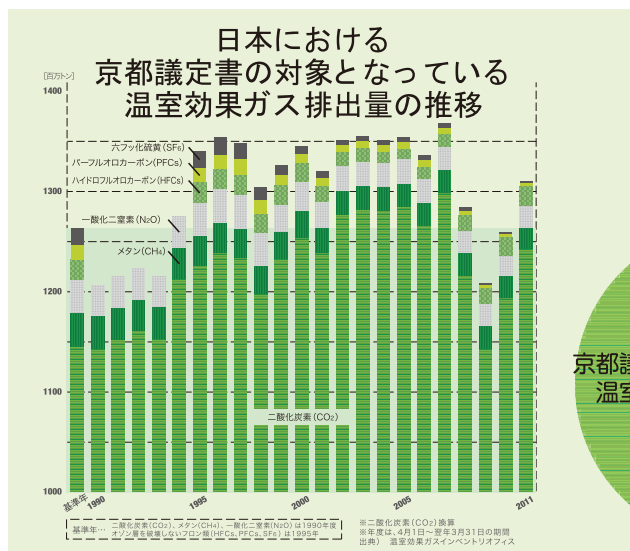
温室効果ガス排出量の実態



■ 世界では…

二酸化炭素排出量の最も多い中国、2番目に多いアメリカは、毎年 50 億トン以上を排出しています。

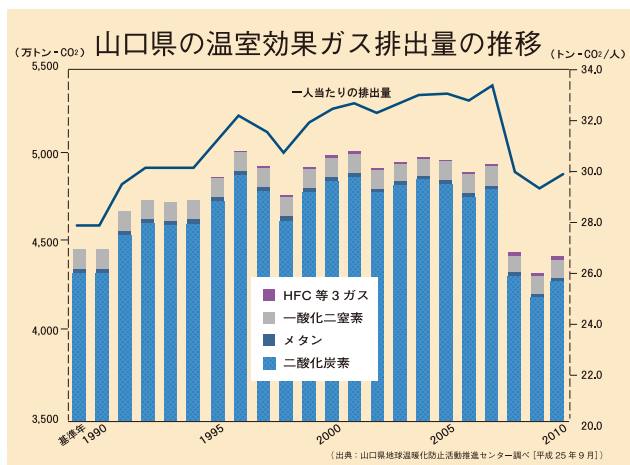
日本はアメリカの4分の1以下ですが、世界で5番目に多い国となっています。



■ 日本では…

2011年度の我が国の温室効果ガスの総排出量は13億800万トンで京都議定書の基準年 (1990年) 比で 3.7%の増加となっています。

日本は、温室効果ガスの中で二酸化炭素の割合が極めて高く、約 95%となっています。



■ 山口県では…

2010年度の山口県の温室効果ガスの総排出量 (二酸化炭素換算) は、4,354万トンで基準年度比 (※) で 0.9%減少しています。

しかし、一人当たりの二酸化炭素排出量は、29.9トンで、1990年比で 6.4%増加しています。

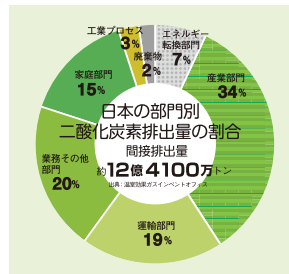
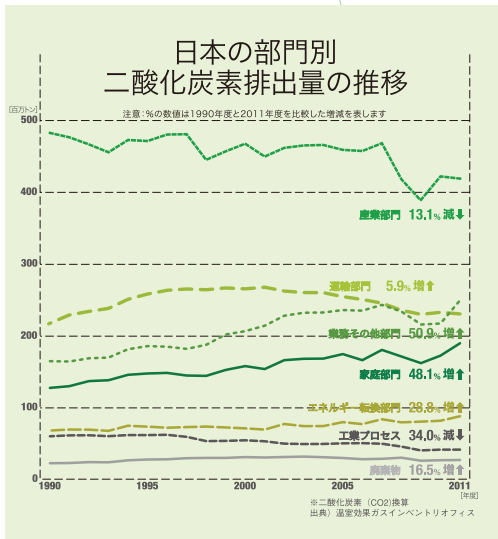
※1990(平成2)年度。但し、HFCs、PFCs、SF6については1995(平成7)年度

山口県地球温暖化防止活動推進センター

<http://www.yobou.or.jp/yccca>



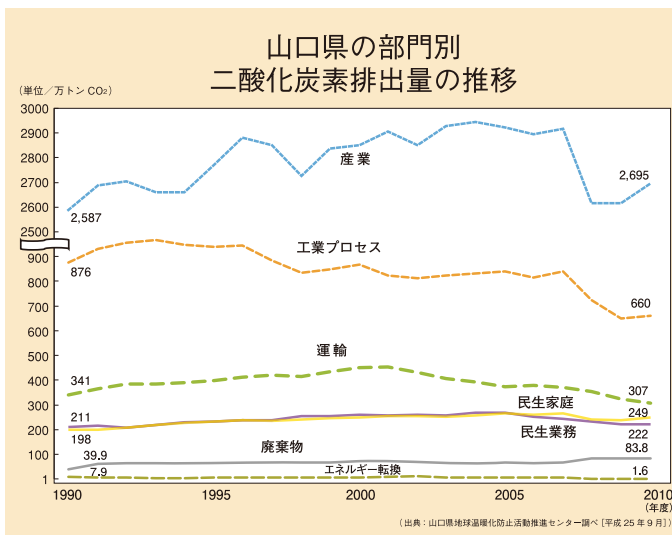
部門別二酸化炭素排出量の実態



■日本では…

2011年度の二酸化炭素の総排出量は約12億4100万トン。部門別に見ると、工場などの産業部門が34%を占めていますが、1990年比で13.1%減少しています。

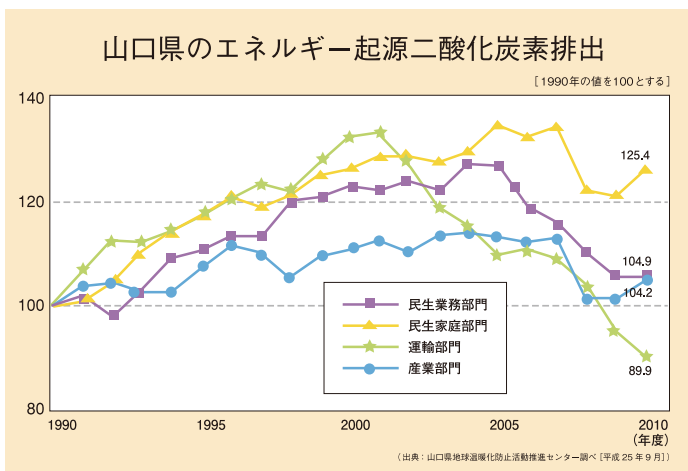
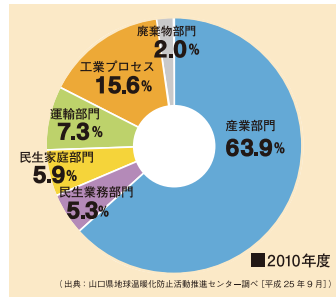
一方、オフィスなどの業務部門は50.9%、家庭部門は48.1%の増加となっており、オフィスや家庭での二酸化炭素の削減は急務となっています。



■山口県では…

2010年度の二酸化炭素の総排出量は、4,218万トンで1990年比で1.0%減少しています。

部門別に見ると、産業部門が63.9%と大きな割合を占めています。



二酸化炭素排出量の推移を見ると、基準年比で産業部門は4.2%増加しています。

一方、私たちの暮らしに深くかかわっている民生部門では業務部門が4.9%増、家庭部門は25.4%増と大幅に増えています。

家庭部門での増加の要因としては、「電化製品の種類の増加」「世帯数の増加」「電化製品の保有台数の増加」「電化製品の大型化」などがあげられています。

山口県地球温暖化防止活動推進センター

<http://www.yobou.or.jp/yccca>



家庭からの二酸化炭素排出の動向

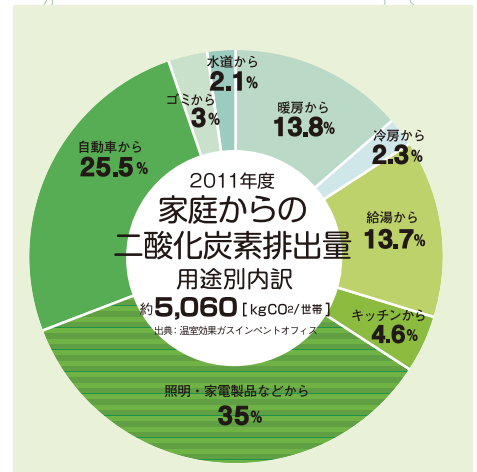
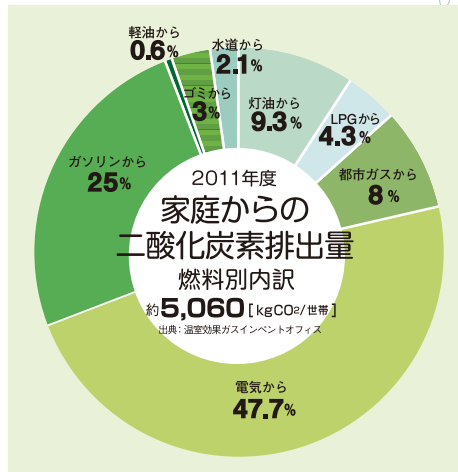
温暖化の原因となる二酸化炭素は、主に石油や石炭などの化石燃料を燃やすことで発生します。つまり、私たちが化石燃料を燃やしてエネルギーを使うことが主な原因です。

家庭では、「電気」「ガス」「灯油」「ガソリン」などのエネルギーを使っているため、家庭における省エネ（エネルギーの節減）は、温暖化の原因となる二酸化炭素の排出抑制につながります。

■日本では…

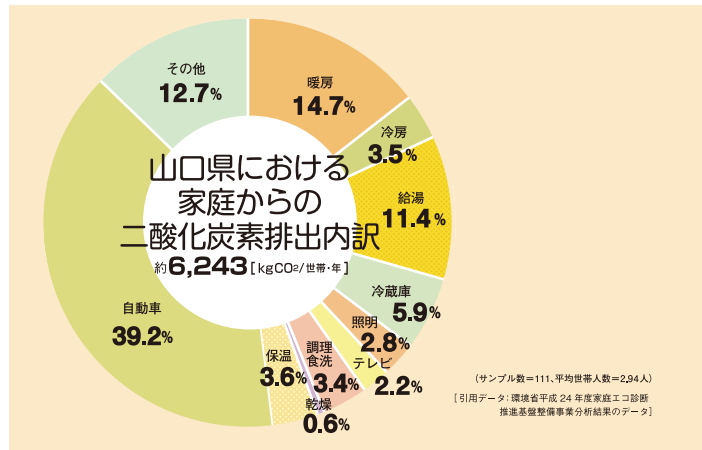
家庭からの二酸化炭素排出量は、電気、ガソリン、灯油の順で多く排出されています。用途別では、照明・家電製品などからの排出が最も多く、自動車、暖房、給湯と続いています。

暖房のほうが冷房よりはるかに二酸化炭素排出量が多いという特徴もわかります。



■山口県では…

2012年度の山口県1世帯あたりの二酸化炭素排出内訳は、自動車が39.2%と最も多く、次いで暖房14.7%、給湯11.4%、冷蔵庫5.9%となっています。



1世帯当たりの年間ガソリン購入量

| 地域 | 年間購入量 (リットル) |
|-------|--------------|
| 山口市 | 822 |
| 山形市 | 722 |
| 大分市 | 709 |
| 全国平均 | 510 |
| 京都市 | 224 |
| 大阪市 | 167 |
| 東京都港区 | 151 |

家計調査 (内閣府) 平成24年2人世帯以上のデータをもとに作成
(出典：山口県地球温暖化防止活動推進センター調べ [平成25年9月])

山口県1世帯当たりの月平均光熱費

| 項目 | 割合 | 金額 |
|------|-----|---------|
| 車燃料代 | 44% | ¥12,988 |
| 電気代 | 35% | ¥10,301 |
| ガス代 | 13% | ¥3,774 |
| 灯油代 | 8% | ¥2,286 |

(サンプル数=111、平均世帯人数=2.94人)
【引用データ：環境省平成24年度家庭エコ診断推進基盤整備事業分析結果のデータ】

2012年度の山口県における1世帯あたりの年間購入量を調査した結果、822リットルと全国で最も多く、全国平均の約1.6倍でした。

2012年度の山口県1世帯あたりの月平均光熱費の内訳は、自動車の燃料代が44%と最も多く、次いで電気代35%、ガス代13%、灯油代8%でした。

山口県地球温暖化防止活動推進センター

<http://www.yobou.or.jp/yccca>



家庭でできる地球温暖化防止のための取組

平成24年度に当センターで実施した「家庭におけるストップ温暖化診断」の診断結果からわかった、山口県内の家庭で行われている地球温暖化防止のための取組をご紹介します。

ご紹介の「トップ5」「ワースト5」ともに、どこのご家庭でもほんのちょっとした心がけで行動に移せる内容です。

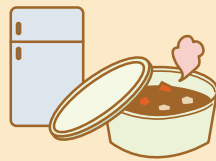
● 山口県のご家庭でよく取り組まれていること

温暖化防止の取組 **トップ5**

- マイバッグを使う



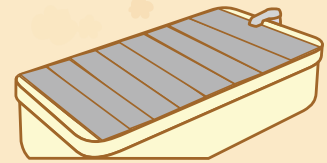
- 熱いものは冷ましてから冷蔵庫に入れる



- 誰もいない部屋は暖めない

- 冷蔵庫の扉のパッキンは傷んだものを使用しない

- 浴槽にはフタをする



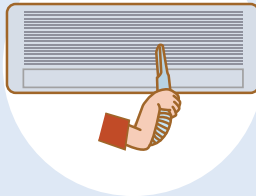
● 山口県のご家庭ではあまり取り組まれていること

温暖化防止の取組 **ワースト5**

- エアコンのフィルターをこまめに掃除する

→ エアコンのフィルターが詰まると冷暖房の効率が悪くなります。

2週間に1度フィルターの清掃をすると、1年間でCO₂が11.2kg削減され、約700円の節約に!



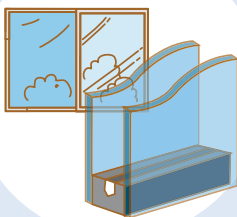
- 暖房時にはサーキュレーター等を活用して部屋の空気を循環させている

→ 暖かい空気は部屋の上部にたまりやすくなります。暖房時に扇風機やサーキュレーターを併用したり、エアコンの吹出口を下に向けると暖房効率がよくなり、省エネで電気代が減って家計にもうれしい効果が!!

- ペアガラスや遮熱シートを設置して窓を断熱する

→ ペアガラスや遮熱シートは、夏の日射熱を遮って冷房の効果を高めます。

新築やリフォームの際は是非オススメです。



- 近所への外出には車を使わない

→ 週2回、往復8kmの車の使用をやめると、1年間でCO₂が185.8kg削減され、約10,880円もの節約に!

近所へのお出かけは、徒歩や自転車です。



- 夏季は、駐車時に日よけをつける

→ カーエアコンの使用は、想像以上に燃料の消費増につながります。

例えば、外気温 35℃の炎天下での使用はオフの時に比べて 38%も燃料消費が増加!!

日よけを使って車内の温度上昇を防ぎ、窓をあけて車内温を下げてからエアコンをつけると使用時間が短縮され、エコ&経済的です。

山口県地球温暖化防止活動推進センター

<http://www.yobou.or.jp/yccca>



家庭における ストップ温暖化診断

家計も
節約できます!

受けてみませんか? 無料で省エネのアドバイスが受けられます!!

家庭におけるストップ温暖化診断は、ご家庭の光熱費や温暖化防止への取組などをお聞きし、その内容に応じて専門の診断員が分かりやすく具体的な温暖化対策をお伝えする事業です。

家庭における
ストップ温暖化診断の流れ

診断を受けるご家庭

申し込み

お申込み後
約2週間
調査票が届きます

調査票の記入・提出

専門の診断員による
診断結果の作成

約1ヶ月

診断結果のお届け
省エネアドバイス等の確認
※ご希望により、診断員が訪問して
ご説明します。

エコライフの実践
温暖化対策の強化

家庭から排出される
CO₂が削減され、
地球温暖化防止に!!

診断のメリット

- ✓ 各家庭のライフスタイルに合った具体的な省エネアドバイスを受けることができます。
- ✓ 診断が省エネ行動等につながることで、光熱費など家計の節約につながります。
- ✓ 家庭で環境に配慮した省エネ行動等を日常的に行うことで、地球の温暖化防止に貢献できます。



調査票(見本)

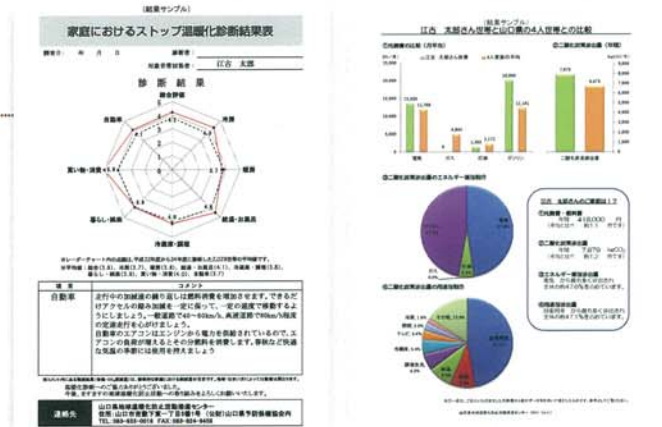
意外と
カンタン♪

質問内容は、
電気・ガス・ガソリン等の使用量や
普段の暮らしに関する簡単なものです。
回答は、該当する答えを選択するだけ。

所要時間は
10分程度です。



診断結果(見本)



各家庭の“どこからどれだけ”CO₂が出ているか、“どんな対策が有効か”が、一目で分かる診断結果です。

- 対象 / 山口県内にお住まいの方 または山口県内に勤務先のある方
- 診断料 / 無料
- 診断方法 / 地球温暖化防止活動推進員による診断

※希望者には訪問診断を行います。

(お申し込み・お問い合わせ先)

お住まいの地域を担当する地球温暖化防止活動推進員 または下記山口県地球温暖化防止活動推進センターまで、お申し込み・お問い合わせください。

山口県地球温暖化防止活動推進センター
<http://www.yobou.or.jp/yccca>

〒753-0814 山口市吉敷下東一丁目5番1号 (公財)山口県予防保健協会内 TEL: 083-933-0018 FAX: 083-924-9458